



前期企画 報告

上映会「ゆめパのじかん」

2022年11月16日（水）
北九州市立大学本館 C-402教室にて

様々な世代がいる、何をしても、しなくても、「ありのままの自分」でいられる場所。

子どもたちの遊び場「川崎市子ども夢パーク」=通称「ゆめパ」。遊んでいる表情、考えている横顔、子どものそばにいる大人、画面に記録された印象的な場面から、参加者も様々なふりかえりを寄せてくださいました。

参加者のふりかえり より.....

*観ている途中、何度も泣きました。感動したり、自分が子どものときを思い出してつらくなったり...ゆめパに行くことを選んだ子どもたち、とてもかっよかったです。迷うこと、悩むことを受け入れられるひとになりたい。なんだか想いがあるけれど、言葉にするのがむずかしいけど、こころがふるえました。子どもが小さいうちに観られてよかったです。

*自分の子ども時代のこと、自分の子どものことと照らし合わせながら観ていた。学校に行くこと、みんなと違いすぎないこと、文句を言わずうまくやれること... いつの間にかその子自身のありのままではなく、自分が思う枠にはめること、はまることを望んでいた。女の子は笑っていたほうが良いことあるよ、挨拶できたほうが愛されるよ...じゃあその子の良いところは認めてあげられていたか。その子がありのままいられる場所、それが、許される場所。少なくとも家ではそんな場所を作り、許してあげられる大人でありたい。



後期講演会 報告

「地域で子育てを支え合う仕組みづくり」

2023年3月6日（月）
北九州市立大学本館 C-203 教室にて

講師：NPO 法人 SOS 子どもの村 JAPAN 事務局長 藤本 正明さん

広報・ファンドレイジング 舛田 和子さん



3年ぶりに講師の方に来ていただき、リアル開催することができました！

当日をむかえるまでのやり取り、託児の準備、講演会の案内、当日の会場づくりなどなど、久しぶりの動きに、たくさんの方の協力のもと、当日を迎え定員60名の申込みおかげさまで、満員御礼！行政、子ども園の職員、子育て中の親、子育て支援者など、たくさんの方が興味を持ち、参加していただきました。

また、一期一会の出会いを大切にされている講師のお二人。講演後にもアフタートークを開催したり、リアル開催だからこそ感じられた、講師のあたたかい場の雰囲気もとてもよかったです。

「息抜きしたい」「一時的に預けたい」子育て中に誰もが感じる小さな声に耳を傾け、受け止める仕組みが、虐待を防ぐ一歩になります。

SOS 子どもの村 JAPAN では、里親制度を使った「子どもショートステイ」の取り組みについてお話していただき、子どもがおかれている「今」の現状をうけとめました。子どもが「安心」して過ごせるように、子どもの不安に寄り添い、子どものペースで子どもの心のスペースにはいる。お箸を選ぶ選択肢も子どもにあるのがショートステイ、また、地域の里親がショートステイの子どもを預かる「みんなて里親プロジェクト」も紹介していただきました。まずは、知ること。そして、できることから始めてみようと思えた時間になりました。

参加者のふりかえり より.....

*とっても勉強になりました。どんな子どもでも、生まれたからには幸せになってほしいです。社会の状況から「孤育で」の実態はあるのかなと思います。子どもへの支援は、親への支援です。そうした人たちへの支援は、これからの社会を創っていくための支援になるんだろうと思いました。自分にも何かできないかもっと考えていきたいと思っています。

*貴重な講演をいただきありがとうございました。子どもの村の存在を初めて知ることができました。北九州市にもぜひこのような施設を作っていただきたいです。今、2歳の男の子を育てていますが、実家が遠く頼ることが少なく、気持ちがふさぎ込むことがあります。一時保育もありますが、保育園で起きる事故のニュースを聞くと悩みます。まずは、今日知ったことをいろんな人に話したいと思っています。





※コラボラ = コラボラキャンパスネットワーク
※ミニプレ = ミニプレーパーク



私は 2014 年に北九州市立大学に入学し、実習の一環としてコラボラさんの活動に参加させていただきました。

観月会やハロウィン等、様々な思い出がありますが、特に印象に残っているのがクリスマス会とミニプレの参加です。子ども達の夢であるサンタさんと楽しく交流する場をどのように企画するか一生懸命考え、本番では子ども達の笑顔を見ることができ喜んだことを覚えています。

また、ミニプレとの出会いが自身の研究を始めたきっかけの一つでもあります。学生時代の私にとって普段関わることのない子ども達と一緒に遊ぶ機会は新鮮でした。この体験から子ども達が自由に遊ぶことのできる場の大切さに気づき、どのようにしてこの場が生まれているのか、より専門的に研究したいと考えようになりました。現在では、プレーパークで遊ぶ大人と子どもに焦点をあてた研究に取り組んでおり、安心して遊ぶことが出来る居場所づくりを目指して日々活動しています。

私は昨年 10 月に北九州市立大学に特任教員として着任いたしました。約 5 年ぶりにミニプレにも参加させていただきましたが、当時と変わらず沢山の親子が訪れており、良い居場所になっていると改めて感じました。今後はコラボラの活動をより多くの学生に知ってもらうことを目的に、学生とコラボラを繋ぐイベント等の機会を創出したいと考えています。



コラボラキャンパスネットワークとは？

- ◆ 「北九州市立大学」 / 「NPO 法人北九州子育て・親育ちエンパワメントセンターBee」 / 「高齢社会をよくする北九州女性の会」 / 「NPO 法人GGP ジェンダー・地球市民企画」 / 「NPO 法人スキルアップサービス」 / 「Say! 輪」(セイリング)の計 6 団体が取り組む、多世代交流・地域づくりに関する協働事業をコーディネートするネットワーク団体です。普段なかなか接することの少ない学生と地域の方々が、北九州市立大学キャンパスを拠点に交流できる活動やイベントを展開中です。

